

## 地籍調査事業の進捗

**AQ** 令和6年度の取組や計画は、前年度に引き続き、青下二区地内の調査を予定しています。また、新年度は山間区域に入り、境界査定がされていない所が多く、境界杭の打込も少ない状況です。平成5年度からスタートした調査事業は、令和21年度まで計画していますが、これ以上の進捗を早めることは難しいと捉えています。

## 町民会館ホール棟の解体設計

**Q** 解体後の方向性などは十分に検討しているのか。  
**A** 耐震に対して非常に不安があるため、令和6年度に解体設計・令和7年度に解体工事の予定で進めています。解体後の活用やホール棟の機能については、社会経済情勢をふまえ、在り方を検討していきます。また、民間企業との連携等も視野に入れ取組みます。

## 産後ケア事業の開始

**Q** 「委託料」として予算が示されたが、取組の内容等は。  
**A** 退院直後の母子に対する心身のケアや育児サポート等を通じて、産後も安心して子育てができるように支援する事業です。内容として「母親の身体的及び心理的ケア・保健指導・栄養指導・授乳ケア・育児の手法」などについて、具体的な指導や支援を行います。また、すでに事業を行っている他市町村と同様に「医療機関や助産院」に委託する中で実施していきます。

山に入る機会が増えるので事故やけがのないよう「安全第一」で取り組みます。

青下二区推進委員  
 (左) 山口輝之さん  
 (中) 大木均さん  
 (右) 大木勇さん

安全第一



## 町立保育園の主食提供の開始

**AQ** 開始に至った背景等は。  
**A** 現在、3歳児以上には副食のみを提供し、主食は持参してもらっている状況です。事業開始の背景として、冬場は持参したご飯が冷たくなってしまった

り、朝食にご飯を炊かない家庭が増えてきていたりする状況の中で「副食に適した主食の持参」が負担になっていたとの声が寄せられていました。安全で安心な給食の提供と保護者の負担軽減のために「完全給食」を提供していきます。



給食はとっても楽しい時間。温かいおかずだけでなく温かい主食で、子ども達の笑顔がもっと増えます。

## 町道の災害防止対策

**AQ** 工事の主な内容や場所等は。  
**A** 令和6年度は、道路裏面の崩落防止や法面の整備、道路冠水及び民地等への浸水被害防止に係る側溝整備を予定しています。主な場所は、角山地内町道



町道114号線「通称・鶴越」  
 「新生・小川中学校」の「通学路」に指定される可能性も。迅速な災害防止と安全への対策が求められる。

## 子ども家庭センターの設置

**AQ** 設置の背景やセンター機能は。  
**A** 児童福祉法の改正に伴い「児童福祉業務」を担う「子ども家庭総合支援センター」と「母子保健業務」を担う「子育て世代包括支援センター」の機能・組織を一体化し、両機能を併せ持つ「子ども家庭センター」の設置を予定しています。統括支援員のもとで、子育てに困難を抱える家庭に対し、切れ目のない実効性の高い支援の継続を図ります。また、支援内容等をまとめた「サポートプラン」を作成し、支援を要する家庭に個別具体的な取組を届けていきます。

## 合併70周年記念式典

**AQ** 取組の詳細は。  
**A** 令和7年2月に合併70周年を迎えるにあたり、記念式典の開催を令和6年10月13日に予定しています。パトリアおがわ「いきがいホール」を会場に、功労者表彰や舞台発表、記念映像の放映等を行います。今後も町内各分野の代表で構成する準備委員会で協議し、準備を進めていきます。

## インフルエンザ予防接種の助成

**Q** 対象を「中学3年生」とした理由や、取組に求める効果等は。  
**A** 季節性インフルエンザが流行する冬の時期は、目前に控える高校受験など、卒業後の進路を決定する大切な時期と重なります。生徒自身の感染及び重症化を予防し、安心して過ごしてもらえよう接種の助成に取り組みます。また、1人当たり5000円程度かかる接種費用のうち「3000円」を補助するもので、子育て世帯の負担軽減にもつながると考えます。

絶対合格

受験のプレッシャーはきっとあると思います。でもそんな時だからこそ、しっかり予防接種を受けて乗り切りたいです。  
 伊藤志穂さん(中高谷)

